

「転職市場@山形の創造」



人材紹介 (株)キャリアクリエイト 原田 幸雄

中高年齢者ホワイトカラーの再就職ルート

を見てみると面白い。おおむね二人に一人は人脈を通じた就職である。公共職業安定所を介した就職はわずか二・八%である(図1)。

これには二つの解釈が成り立つ。一つは、中高年齢者は、人脈がないと再就職しにくい」というマイナスイメージであり、もう一つは、経験、人脈豊かな人は職安をあてにせず、自分の人脈で職を探してしまう」というプラスの見方である。多い少ないは別として実際両方ともある。

しかし、企業が欲しい人材は後者、つまり「経験、人脈豊かで経営を改善してくれる人」である。

経営者の右腕、参謀役、切り込み隊長の場合、どんな求人が公共職業安定所に寄せられているか賃金の切り口で見てみたい。ハローワークやまがたが発行している『週刊求人情報』から「専門・管理職、販売・営業職で四十歳を超える求人案件」の賃金中位数を集計してみると、月給換算でおおむね二十五万円

程度となっている(図2)。

私も人材紹介会社を取り扱う職種は中高年齢者の場合、大半が管理職である。企業を回ってみると、従業員規模百〜三百名の企業の場合、課長職で五百〜六百万円、部長職で六百〜七百万円といったところが山形の相場である。むろん、業種、職種、企業規模、業績などにより大きくばらつくというところはご理解いただきたいが、月給換算ではおおむね四十〜五十万円といったところである。

公共職業安定所に出る求人票の賃金相場と中高年齢者が前職でもらっていた賃金相場とのギャップにお気付きであろう。経験、人脈豊かな力のある人」は公共職業安定所に行っても従来の自分の生活を支えられるだけの求人がないことに気付いている。よって、経営者の右腕、参謀役、営業の切り込み隊長クラスになると、残念ながら公共職業安定所の紹介では採用しにくいのが実態である。

では、優れた技術をもつ潜在的転職希望者はどこにいたのであるのか。結論を言えば県

外である。

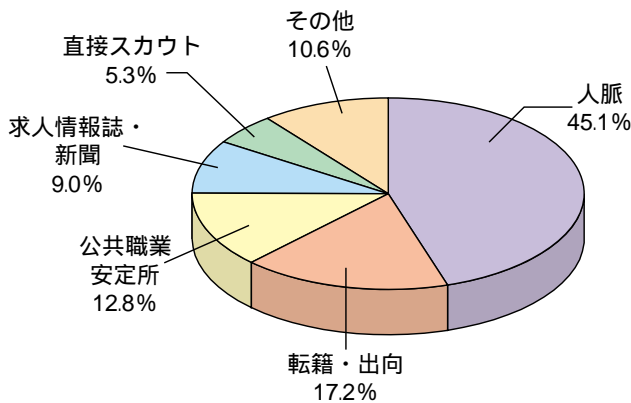
これには三つの理由がある。まず、経営者自身が山形の同業(競合)他社からは採用しづらいことである。

次に、県内で働く方の意識は「定年まで勤め上げる」ことを第一としており、キャリアアップのための転職を考えている人は少ないことである。会社が傾いたり、人間関係でどうしようもなくなった時に初めて転職を意識するようである。ちなみに、山形県の離職率や離婚率は全国的に見ると極めて低い水準にある。我慢強い県民性なのである。

さらには、大学進学者の多くは県外に就職しているということである。山形県の大学進学者はおよそ年間四千人強で、その内実に八五%が県外の大学に進学している。卒業時に就職Uターンを試みる方も増えてはいるものの、依然多くは県外で就職している。山形は典型的な首都圏への人材供給県となっているのだ。

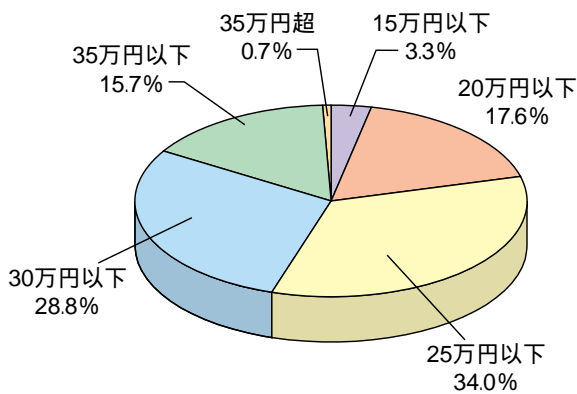
結局、技術を持った潜在的転職希望者は、

図1 経営者から見た中途採用ルート



資料：厚生労働省「ホワイトカラーの中途採用の実態に関する調査」

図2 中高年ホワイトカラー賃金相場



資料：ハローワークやまがた「週刊求人情報」(2001年5～9月分)

原田 幸雄

(株)キャリアクリエイト代表取締役
 山形市薬師町2-6-17 発見ビル2F
 TEL 023-641-8807
<http://www.career-creat.co.jp/>
 1960年、山形市生まれ。山形東高校、山形大学人文学部を卒業後アルプス電気入社。2000年アルプス電気を退職、(株)キャリアクリエイト設立。
 アルプス電気では人事・総務部門で人事、教育、労政、採用、総務等を担当。特に、技術者の中途採用は数多く経験している。

現在の転職は、求職者側から見ると複数の選択肢があるとは言いがたい。知人を介しての「誘われ転職」であり、すなわち一本釣りである。決して市場を通じての転職と言いうことは当たらない。

自らのキャリアを磨き、さらに成長したいという意欲を持つ人が私どもに登録していただき、一緒になって新天地を探す。そして、転職し、活躍する。やがて、本人の頑張りとともに企業も成長する。こうして、本人のやり甲斐はあがり、紹介先企業は喜び、雇用も拡大する。そんな事を思うと胸がワクワクする。

ほんの十年位前までは飲み水はタダというのが常識であった(むろん水道料金は支払うのだが)。しかし今は、「おいしい水にはお金を払う」が一般化している。雇用のミスマッチが深刻化している現在、「経験・技術ある人材の採用にはお金を払う」ことも世の流れになりつつあると実感している。

大学卒の県外で働くリターン希望者ということになる。

私どもは首都圏、東北を中心に約三十社の人材紹介会社と業務提携し、お互いに求人・求職情報を交換している。幸い、今のところ山形では唯一の人材紹介業ということで山形関連の情報はすべて提供頂いている。

さて、常々疑問に思うことがある。例えば、企業が一億円の機械設備を導入する場合、普通は相当な費用をかけて調査する。加えて、機械を使いこなすために作業員への教育投資も行わずである。しかし、不思議なことに人材採用に関しては事情が異なるのだ。

仮に年収五百万円の人を中途採用する場合

はどうか。人件費は福利厚生費まで含めると年間八百万円程度になる。四十歳の人であれば定年までに単純計算で一億六千万円となる。人材採用も設備を導入するのと同様に、それ相応の調査費(人材紹介料)をかけても然るべきと思うが、いかがであろうか。

私の夢は「転職市場@山形の創造」である。こういふと皆さんは不可解に思われるかも知れない。現に転職をした方はたくさんいるからだ。

しかし、良くお考え頂きたい。失業者が職に就くことを転職とは呼ばない。再就職である。また、市場とは複数の買い手と複数の売り手が集う場所のことを言う。